京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郞
發行所 京城西署西小門通（電話六六三） 京城新報社

論說

漢城より（三十日）

鯨浦逸人

▲故伊藤公が畢生の事業は遂げられ、我社の主張竟に達す、天意の在る處、即ち國是の淵源を極めて、事之れに適へりと申すべし、吾等新附の同胞と共に慶賀に堪へず候。

▲聞くが如くんば、今日の事、故伊藤公よりして大に此に意を致されたる處なりと、去れば百般の政務に關する重要なる事項は、業に已に研究に研究を重ねられたるや云ふ迄も無し、國民は意を安じて可なり。

▲但吾民國民の分としては、負擔の量今や事前に茫漠せるを覺ふ、蓋し朝鮮の事吾等內地人の思ふが儘に作爲し能はざる理由あり、左支右梧、吾等の進捏を妨ぐるもの是れ無しといふべからず、特に死んや新たに得たる老幼の伴侶を携へて高里文化の府に歸なんとするに於てをや、於此吾等は成を其甘に仰がんとするの心あるを容さず、將又目前の小事と雖ども之れを閑却するを許さず、イザサラバ限り有る身の力試さんとやらの覺悟有るを肝腎と存候。

▲南大門外道路擴張は吾等の市民と共に久しく渴望せし處なるが、頃ろ當局に於て其の準備に着手せしとか、時が時なり、之れを併合記念道路として十分立派に開鑿し、漢陽の玄關を飾らんは多少費用の增大を來たすに値せずや、敢て當局に建言致し候、

▲別に、吾等は朝鮮人に一言す、卿等は併合を以て必ずしも榮譽とはせざらん、然れども必ずや幸福を感ずるならん、或は榮譽ならざる幸福を以て幸福を感ずる能はずといふ勿れ、彼の水の泡に見よ、一つ滅しては他に合し、他を合しては大を成す、之れ瞬時のみといふと雖ども水泡は斯くてぞ存在す、人世亦斯るべしとは、有理なる推理として史乘の證する處、然れば併合を以て榮譽ならざる幸福と爲すは日本人と朝鮮人との古來の關係に熟する者の短見とし、餅見とする處、達觀すれば即ち千万の幸福を感ずべし、而かも其幸福や故伊藤公の調理、案配に依て其の素を成せり、卿等若し公の德を記さば匠に命じて公の像を作り之れを南門の頭に建て永く韓城鎭護の神と祀らんは如何、卿等誠意あらば政府も强ちに阻止する莫かるべし、吾等が朝鮮の兄弟に致すの言、敢て苦きを强いるものにあらざるの意を諒とせよ、吾等は叙上記念道路竣成の日、必ずや此の擧あらんことを希望する者に御座候。

雜報

全國水害救濟の義擧

本年の水害は其の區域の廣大なる點に於て被害の程度の激甚なる點に於て近古未曾有にて百二十餘年前の天明年間の大水害の如きも遠く及ばざる有樣なり其の區域は東京府を初めとし神奈川、群馬、千葉、埼玉、栃木、茨城、福島、宮城、巖手、山梨、長野、新潟、靜岡、三重、愛知、秋田、山形、鳥取の一府十八縣に渉れり是等地方にては寄るに家なく一家離散し饑餓に瀕するもの幾十万に達せり而して病疫又踵を繼いで至り慘禍彌々激しからんとする勢なり是等の罹災民を救恤するの急務なるは素より云ふまでもなき處なるが今回松方侯總裁となり衆議院議長長谷場純孝實業家の元老澁澤榮一男兩氏副總裁となり實業家政治家其他有力家と共に臨時水害救濟會を組織し去る八月廿三日を以てこれを發表しゝが右に對しては內閣大臣は勿論朝野の有力者は十分盡力する筈なりと云ふ今其の役員を見るに三井家の代表者として益田孝氏、三菱を代表して豐川良平氏、商業會議所側を代表して中野武營氏及び上下兩院幹長太田、林田兩氏常務委員たり會計監督には東京電燈會社々長佐竹作太郎東武鐵道會社々長根津嘉一郞兩氏之れに當り目下寄附金募集中なるが江湖の篤志家は奮て被害民の窮狀を救恤あり度きものなり尙寄附金取扱指定なき地方は直接東京市日比谷衆議院圖書館內臨時水害救濟會會計監督宛送金して宜しと云ふ

▲臨時水害救濟會規約

第一條 本會は臨時水害救濟會と名く
第二條 本會は今回の水害に罹りたる各府縣罹災民の救助を爲すを以て目的とす
第三條 本會の事務所を衆議院圖書館に置く
第四條 本會は前條の目的を達する爲めに廣く有志の寄附金を募集す但し寄附金は金一圓以上とす
第五條 本會に左の役員を置く
總裁 一名
副總裁 二名
常務委員 五名
會計監督 二名
委員 二十名以上卅名以上
評議員 若干名
常務委員以下の役員は發起人に於て之を選定す
第六條 募集金の受附締切は九月三十日とす
第七條 募集金は其筋に稟議し本會委員會の議を經て罹災地方に分配す
第八條 本會に關する重大事件は評議員會の議に附すべし
第九條 寄附金は第一銀行、第三銀行、第十五銀行、第百銀行、三井銀行、三菱銀行、住友銀行東京支店、浪速銀行東京支店、北濱銀行東京支店に於て之を取扱ふ但し各地方取扱銀行は追て之を定む
第十條 右に掲げざる事項は本會委員會の議を經て之を決定す

殖民政策の統一

拓殖局は經費其の他の關係上當分遽かに其の規模を擴張し難き事情あるも執務の內容は漸次之を充實せしむる方針にて各殖民地の實勢及び其の內地との關係等の調査完了したる曉にも閣議を開きて殖民拓殖の大方針を定め以て統一的（劃一にあらず）殖民政策を施行するに至るべし世間往々拓殖局には官制上各殖民地に對し何等命令又は監督權なき樣云爲する者あれども幷は內務省の地方局が各地方長官に對して何等命令權なしと云ふに等しく拓殖局は內閣の施政方針の一部を查定する總理大臣の機關たるを知らざるものゝ言なるべし兎に角朝鮮の幷有も發表せられ本邦の國家組織が益々複雜となりたると同時に將來民族の發展國家の膨脹には是非適良なる殖民及び拓殖事業に依據せざるべからざるを感得すべく隨て拓殖局の將來亦多望なるべしと云へり

俳句

京城 如月會句集（下）

高木むら先生撰

月に雲置くや雨添ふ今年竹　不美女
水打てば風生れ來つ靑すだれ　不得
差出て宿の名を賣る團扇哉　彌生
蔭膳や蓋に花柚も添へて置　萩水
若竹や古金を洗ふ樓の端　同
乞食堂に貰ひ分つや寒の秋　同
水打てば苔の香や蝸牛　彌生
蝙蝠や晝も灯す奥の院　ひさし
夏籠やたい松風の通ふ庵　萩水
時家碁客隣る垣根の花柚哉　萩水
雨含む雲にでゝ虫生れけり　不美女
人何食ふて活きて居かよ蝸牛　花醉
地笹原や角振り回す蝸牛　萩水
天方丈や晝を靜に芥子の散る　同
軸擬擊の銅鑼に更たり夏の月　撰者むら

講談

大岡政談 越後傳吉

第六十三回　旭堂南陵講



漸う水だの湯だの持つて來て當人の氣を鎭め 老「ナア〜何うしたのですか、氣を鎭めて話をして下さい、易者の前でさう急ッ込んで云ふて貰ふと困るから 男「何うも斯うもありやアしません、私の女房が居なくなつてしまつたんで、皆目死んだか生きてるか解らないんで、はやく鑑てれ呉んなさい 老「ハ、ア、そりや一體何時頃のことで 男「何時も何もありやアしません今日の夕方に何所かへ連れて行かれたんで…… 老「ハテナ、宜しうございます、只今卜ひますから、詰り失物で…… 老「失物ですナ 男「エ、爾うでさ、失物で…… 男「年齡ですか、年齡は…… 老「二十七歲、成程、解りました」 當人の血色を眺めた近藤卜齋、暫らくの間筮竹算木を探つて考へた上 老「ハヽア、誠に申し難いことだが、是はモウ仕樣ございませんな、現世に生きて居りませんぜ 男「エッ死んだッ…… 老「ハイ現世の人でない、この卦面は…… 男「ツ其奴ア大變ぢやア殺されたんですか 老「殺されなさつたか、不時な死狀をしなさつたかは知らぬが、マア變死ぢやなこの卦面で見ると 男「ア、可愛想な事をしたなア、ド、ド、何奴が殺したんで…… 老「そりや私にやア解りません、能く調べて進げなさい、死骸位は手に入る事がありますから 男「然うですか、大きに何うも有難うがす、其奴ア飛だ事をしてしまつた、可哀想な事をしましたなア……」死んだと聞いたから、その男は落膽して腕を拱んだ、スルと最前からの樣子をば次室に見て居つた傳吉が 傳「モシ失禮ながら貴下は江戸淺草田原町の木暮の若旦那ぢやアございませんか、男「エッ私ア斯んな處に馴染はねえ筈ですが、何誰ですね……ヨッれ前さんは三浦屋の傳吉どんか 傳「ハイ、傳吉でございます 金「イヤ是やア御意見番、妙な處で遇つたね、何ですかね、れ前さん此地へ何しに來たんですね 傳「ハイ、私等アこの向ふの寶田村が生れ故郷で……金「違へねえ、確かに越後ッ兒と聞てたッけが爾うですか、れ前さん此地が故郷ですかね 傳「私等ア故郷へ歸つたんだが、若旦那は何うして此地へ來たんでがす 金「傳どん聽いてれ呉れ、何日か三浦屋の二階でれ前さんの御厄介になつた五十兩一件ね 傳「ハア 金「彼のとき私が熱くなつて通つて居た可祝花魁 傳「ハア 金「あれを親父に話して到頭落籍して貰つたんだ 傳「可祝さんを落籍なせへましたか 金「マア女房にした處が廓に居る時分にやア隨分壯健な女のやうだつたのに、さて落籍をすると彼が惡い、此方が惡いと始終身體が不健康、それで幸ひ草津の温泉が宜からうといつて呉れる人があつたから、私と二人連れで草津の温泉に來たんで 傳「ハア 金「マア善い工合に身體は良くなりました、なつたが彼女のいふ事にやア、若旦那、妾ア素越後の生れで兩親の名前は解りません丁度八歳の時阿父さんに連れられて江戸見物に來ましたがその時淺草の觀音さまへ參詣をしました事は子供心に知つて居ります、ところが大勢の人の中で離れてしまつて或人に拾ひ取られ、それから到頭斯ういふ身體になりましたが確かに阿父さんは越後の生れ、そのときの守袋は今に妾等が持つて居りますと、斯ういふんで……マア守袋を見たが名前も何も解りやアしません、番付の片ッ端が這入つて居るばかり尤も越後の高田在とあつて、そして上の方の字が一字破けてしまつて讀めませんが、田村で、斯ういふ所で……それで庄といふ字があつて次が破けてしまつて門といふ字が殘つて居るんですが、ゔれぢやア薩張解りやアしませんやナ、けれども兎に角やア越後の高田の在だから調べたら宜からうと斯ういふ譯から連れて來たんで……可祝は本名をれいわといひます、所が道中で駕籠を勸められ乘せたのが間違の基となり此方の駕籠が愚圖々々して居る裡に到頭嚊アの駕籠を何所へか擔いで行てしまはれ、後を追ッ驅てマア詰り誘拐されたんですね」

東京電報

▲樞相の祝賀言上

山縣樞密院議長は本日午前參內日韓併合の祝賀を奏上し御下問に奉答する所あり尚ほ御殿部を拜し退出歸途宮內省に渡邊宮相を訪へり(三十一日)

▲華族に勅語を賜ふ

渡邊宮相は本日勅を奉し華族總代として德川公以下四名を招き左の勅語を賜はりたり(三十一日)

華族は四民の上に位す還想端肅世の儀表たるべし今や宗秩寮を置く爾等努勵格謹奉公の誠を致し常に身を顧み言行を愼み失墜なきを期せよ

▲清帝義金の謝意

今回の水害に就き清國皇帝陛下には御救恤金として金十萬元寄贈相成りたるに就き我が天皇陛下には清國皇帝に對し同國駐劄公使の手を經て謝意を表せられたり(同上)

▲合併賀狀の奉呈

原田東京市長代理は日韓併合發表せられたる爲め賀狀を携へて參內渡邊宮相を經て奉呈せり(同上)

▲東京市の祝賀會

東京市會議員は本日上野精養軒に於て日韓合併祝賀會を開催せり(同上)

▲合併趣旨の通達

小松原文部大臣は地方長官及官私立大學高等學校中學校各種專門學校長に對し日韓併合詔書の趣旨を說明し同情同化の實を揚ぐべき旨通牒す(一日)

▲合併論評の奏上

小村外務大臣は天皇陛下に拜謁仰せ付られ日韓合併に付各國の論評其の他に就き伏奏する所ありたり(同上)

▲宮中奉告祭の執行

今一日宮中に於ては天皇陛下出御賢所御靈前に於て嚴肅なる日韓併合奉告祭を執行せられたり(同上)

▲總督府と軍司令部

朝鮮總督府官制は來る十一月を以て發布せらるべく同官制發布と同時に朝鮮駐劄軍司令部條令廢止さるべし(同)

▲二百十日無事か

明二日は二百十日に相當するが中央氣象臺の觀測によれば無事なるべしと

▲陸軍生徒の處置

韓國の陸軍依托學生は併合の結果卒業後日本陸軍將校として採用せらるべし

▲故梅博士葬儀日取

梅博士の遺骸は本日着葬儀は來る七日午後營まるゝ由(同上)

▲曾禰前統監の感慨

曾禰前統監の主治醫菊地博士の語る所によれば寺內統監より電報にて韓國併合の旨子爵に傳へ與れとの事なりしを以て直ちに其の旨傳へしに昏睡狀態に在りし子爵は甘く行つたと一言答へ胸中無量の感慨に堪へ得ざるものゝ如くなりしと(同上)

倫敦電報

▲葡國選擧の經過

葡國議會の總選擧は平穩に經過しつゝあるも平和黨は優勢なり(同上)

伯林電報

▲露帝の獨國訪問

露國皇帝及皇后は獨逸に向け御出發あらせられたり(一日)

▲國王の元帥任命

モンテネグロ國王ニキタ公は露國陸軍元帥に任せられたり(同上)

▲獨逸各地虎疫發生

獨逸國の諸所に虎列拉病發生しつゝあり

雜報

勅使着京の模樣

封王詔書を捧持せる勅使稻葉子爵は豫定の通り三十一日夜八時十分南大門驛着列車にて入京せられたり停車場には山縣副統監、各參與官、石井、外波兩武官以下の高等官、李總理、閔前宮相、趙前農相、金中樞院議長、尹前侍從院卿、李前武官長等約八百餘名出迎し山縣副統監の案內にて貴賓室に入り出迎諸員の挨拶を受けられ統監府より差廻したる馬車にて嚴肅なる警衛の下に兩武官先導し順路統監官邸に入られたり

寺內統監に優詔

勅使稻葉子爵統監邸に着さるや統監は玄關に出迎へられ綠泉亭に御案內申上げたるが勅使は直ちに寺內統監に左の意味の優詔を傳達されたり

韓國併合條約ノ締結ニ關シ卿ノ盡力尠ナカラズ苦勞ニ思召サレ候殘暑ノ際自愛致ス可キ旨御沙汰候事

昌德宮の冊封式

王公冊封式は豫報の如く一日午前十一時昌德宮に於て擧行せられたり今其の模樣を記さんに寺內統監は午前十時四十五分陸軍大將の正裝に勳一等旭日大綬章功一級金鵄勳章其の他各國の勳章燦然と威容を備へ石井、外波の兩武官兒玉秘書官を帶同して儀仗兵は前後を護衛し昌德宮に參候東行閣に於て李王殿下に謁して日韓合併條約締結の祝詞を述べられたり李王殿下には至極滿足の體にて卿が日韓結合の爲め盡瘁せられたる勤勞を謝する旨仰せられたり程もあらせず勅使參向の時刻にもなりたれば寺內統監は辭して西行閣に赴き茶菓の饗應を受け十一時十五分歸邸せられたり斯くて李王殿下は閔前宮相、小宮前次官、尹侍從院卿、李前侍從武官長、侍從禮式官、侍從武官等十餘名を隨へ仁政殿の正門に出で勅使の參向を待たせらる先是勅使稻葉子爵は昌德宮より差廻されたる李王御召の馬車に勅使出迎の爲め統監邸に赴ける高禮式課長と同乘國分秘書官を帶同して十一時順路昌德宮に參着李王殿下は車寄にて勅使に出迎へられ王自ら正殿に勅使を誘導せられ茲に公式の御會見を遂げたり而して從來謁見の際に於ける王座は一段高く設らへありたるも當日は勿論之れを使用すべきにあらざれば式壇は下段に設けられ又南面するは王者の事なるを以て特に西面して對座せらる斯て莊嚴なる儀式は開始され稻葉勅使は最も嚴肅に王公に冊封する旨の日本天皇陛下の詔書並に李王同妃李太王の各殿下へ御贈品を授けられ李王殿下は恭しく最敬禮して之れを拜受され冊封の盛儀は十一時十五分を以て無事終了したり右終つて殿下は勅使を東行閣に導かれ茶菓の饗應あり稻葉勅使は十一時二十五分を以て玄關迄に李王殿下の御見送を受けて參向の際と同じく一個中隊の儀仗兵前後を警め順路統監邸に歸られたり因に當日李王殿下の御着服は舊元帥の大禮服に日韓の勳章を佩用せられたるが終始御滿足に見受けたり

統監德壽宮に伺候

寺內統監は勅使歸館後直ちに德壽宮に伺候し李大王殿下に今般勅使下向せるに就ての詳細を言上して歸邸せらる

李王殿下の答禮

昌德宮殿下には一日午後一時四十五分敦化門御出門儀仗兵に前後を警衛せられて順路統監邸に行啓せられたり寺內統監同夫人は玄關に迎へて應接室に誘導したるに李王殿下には勅使の長途を犒らはれ寺內統監に對しては天皇陛下に御禮電送達を依賴されたる後ち茶菓の饗を受けて同二時三十分還啓せり

稻葉勅使の歸京

勅使稻葉侍從は一日午後十時四十分發の夜行列車にて歸京の途に就かれたり

●社還米の免除處分

特殊の恩典として社還米免除に就き是が處分法に關して度支部及び內部兩次官より八月三十一日附を以て地方財務監督局宛左の旨意を以て訓示したり

一、免除さるべきものは本年に入り新に現實に貸付を爲したるものを除く他一切免除し隨つて貸付け月日不詳なるもの又は本年分貸付と稱するも本年に於て現實に貸付をなしたるものにあらずして單に舊債務の期限を更新したるもの〻如きは凡て免除せらるべきものとす

一、恩典の趣旨は速に周知を務め萬一社還米取扱者に於て人民の不識に乘じ免除米の徵收をなすが如きことなき樣監督すべきこと

●日章旗を給與せん

來る二十四日は秋季皇靈祭にして韓國併合後に於ける當地の最初の國祭日なれば今回我が國民となりたる朝鮮人等も各戸に日章旗を揭げざる可からざるは勿論なりと雖ども差當りて彼等には日章旗を所持せる者甚だ稀少なる可ければ此際新附の民に日章旗を給與するとは誠に機宜を得たるものなりとの議當局者間に行はれ居るとの事なれば結局日章旗を給與さるゝこととなる可しと

●新官制と地方長官

總督府は設置されたるも之が官制は尙ほ飜案中にて發表は本月下旬なるべし而して新官制による地方行政は京城を京城府として知事を置き地方は各道長官の名稱を用ゆる筈なりと云ふ

●皇宮警察署の改稱

今回從來の皇宮警察を改めて北署の內昌德宮の地域を昌德宮警察署とし西署の內德壽宮の地域を昌德宮警察署德壽宮分署と改めたり

經濟小言

我半島の鐵道

▲我半島の鐵道鐵道院の手を離れて將さに總督府に屬すべしと傳へらる、而かも余輩未だ此報の眞僞を知らず、而かも理に於て然かあるべきものなることを信じ、且つ主張せんと欲す。

▲凡そ世界の鐵道中我半島の鐵道院程繼兒の歷史を有せる者はあらず、米人モールスの京仁線に於ける、京釜鐵道會社の京釜線に於ける、陸軍省の京義線に於ける、何れも生みの親たるなり、而るに種々の事情は之等三線を何れも生みの親より取去り帝國政府の有として統監府に屬せしむるに到れり。

▲第一の繼親たる統監府管理の下に鐵道は少しは延長したり、改善したり而かも著しき發達を見ずして第二の繼親たる鐵道院の手に移されたり。

▲第一の繼親たる統監府は、繼親ながらも繼兒と利害を共にせず、故に其經營に就て迂遠なる點はありしも所謂繼兒扱ひはせざりき、第二の繼親たる鐵道院に到つては如何。

▲鐵道院は內地幾千哩の鐵道を管理す其目的とするところは國庫現在の收入を增すにありて永遠の利益にあらず、故に半島鐵道の如き現在に於て收支償はざるものゝ如きは、鐵道院にとりては寧ろ厄介物、其繼親根性を發揮して冷遇する寧ろ當然のみ。

▲鐵道院が半島鐵道に對し繼親根性を發揮したるの事例は頗る多し、而かも茲に之を記するは聊か憚りなきに非ず故に茲には只利害を共にせざる者の合同が不調和に了りたることを言明する丈に止めんとす。

▲半島鐵道が鐵道院を離れて總督府に屬する大に良し、而かも單に主管者が變るだけにて我鐵道問題が解決せらるゝが如く考ふる者あらば其は大なる誤りなり。

▲近者大屋管理局長人に語つて曰く余は我鐵道に國際的列車を運轉するを理想とすと、此の理想や余輩の同ずるところ、而かも此理想のみを以て半島の鐵道を經營する失敗に了らざらんと欲するも能はず。

▲安奉線の改築、鴨綠江の架橋、之等の工事を了らば半島鐵道が國際的となるや理將さに而るべきを信ず、然れども實際の算盤を握つて將來を考へなば歐洲の旅客荷物等は一の裝飾に過ぎず。

▲半島の鐵道はドコ迄も半島の地方鐵道なり、其繁榮と發達とは半島其物の繁榮發達と終始す、恐なる近距離高賃率や到底適するものにあらず、管理者たるもの茲に思を致すことを要す。

統監不在中の軍務

日韓合併結了せしを以て寺內統監は目下合併後に起るべき諸條令撤廢其の他重要政務を整理し九月中旬頃までに歸東の豫定なるが寺內統監不在中一般政務は山縣副統監に依りて處理せらるべきも新總督府條令に依り在韓陸海軍の統率權は全然朝鮮駐劄軍司令官の手を放れて朝鮮總督たる統監の權限內に移りたるも山縣副統監は文官出身なるが故に軍隊の統率權なき爲め新朝鮮總督府官制發布まで現在の朝鮮軍司令部は之れを存置し司令官大久保大將に依り代理統率せらるべしと

條約發表後の各地

併合條約發表後に於ける各地の狀況は每日其筋に電報の報告頻々として到りつゝあり何れも平穩無事にして引立て記載すべき程のこと無きも三十一日迄の模樣を示せば左の如し

△京畿道 條約の內容は未だ一般に周知せられざれども狀況極めて平穩なり

△全羅北道 二十九日午後に至り條約の大要は新聞號外によりて知られたるも管內異狀なし

△慶尚南道 平穩なり

△慶尚北道 大邱及附近に於ては條約內容知れ亘りしも頗る靜穩なり

△咸鏡南道 條約の公表は觀察道より二十九日郡衙に達せられ夫れより一般に公布したるが人民は豫想外に平穩也

△城津 條約の內容は二十九日午後四時到達したるが人民は未だ內容を知るに至らず唯だ府尹等の知居るに止れり

△全羅南道 條約の內容は未だ一般人民に知れず上流者には大凡知れ亘りしも豫め期待したることゝて別に何等の異狀なし在留の內地人は歡喜湧く如し

●廣梁灣と併合影響

廣梁灣に於ては約四千人の朝鮮人夫を使役するを以て併合の影響として多少工事の進捗を阻碍することなきやとの懸念ありしが今日迄の處何等の言ふべきこともなく數千の人夫は平常の通り平靜に勞働しつゝありて鹽會相談等の如き模樣更に見へず併合後の經過至極平穩なり唯大に困却せしは過日廣梁灣鹽田數百十三萬餘坪の入札をなしたるに入札者は人夫を使役するの困難を心配して唯一名の外入札を差控たることなり然るに幸に其後至極平穩の模樣なれば今十日位を經過せば入札希望者あるべく工事の進捗上多少の遲延は免れざるべきも甚だしき惡影響なかるべしと赤倉書記官は語れり

●今後貿易と關稅局

今後貿易統計を大別して第一內地朝鮮間貿易及第二外國貿易と爲し更に之を從來の如く各貿易項目に細別統計するとなりたる爲め一層貿易の趨勢を明かになすことを得るに至るべし尤も之が爲め二重に統計調製の必要ありて關稅局統計係は非常の多忙を感ずることなるべしと云ふ

●民團學校の始業式

京城民團立高等女學校及び各小學校に於ては一日午前九時始業式を擧行し式後各校長より生徒に對し韓國併合に就ての顚末を懇談し今後諸子は朝鮮人に對する態度は充分注意す可きものなりと訓諭せりと

●檢病的調査の效果

一時各地に赤痢病患者續發して各傳染病室は殆んど充滿の有樣なりしが警察の嚴密なる檢病的戸口調査と清潔法の勵行は其の効を奏し最も蔓延の甚しかりし釜山の如きに至るまで昨今稍々減少に傾けりと云ふ

●京城民團借地返納

曩に京城民團にて軍司令部より借用して埋築其他修繕を加へたる龍山山下町一丁目より三丁目迄の軍用地一萬八十九坪(宅地)二千七百六十七坪(道路)を今回軍司令部に返納したりと

●元山露國領事入京

元山駐在露國領事ビルコフ氏は三十一日午後八時十分南大門驛着入京せり入京の用向は吾帝國が韓國併合の結果條約の消滅を來たしたるを以て今後の領事々務に就き打合せの爲なりと

●英國艦隊の引揚げ

濟州島沖に於ける坐礁艦救助に盡しつゝありたる英國東洋艦隊の一分は後事を日本軍艦に委托して一日橫濱へ向け發航したりと云ふ

●宮內省官吏入京 宮內省官吏桑畑榮次郎田口啓太郎の兩氏は三十一日稻葉侍從に隨行入京浦尾旅館に投宿せり

●羽田記者の歸東 滯京中の大阪每日新聞社東西連絡部長羽田浪之紹氏は一日朝南大門發の列車にて歸阪したり

●大津代議士歸東 國民黨代議士大津淳一郎氏は一日夜行列車にて歸東す

●齋藤勇三氏入京 平壤鑛業所海軍主計大監の氏は三十一日入京浦尾投宿

慶尚北道の農況

本年度は降雨多量なる爲め慶尚北道に於ては山間高地に至る迄悉く植付をなしたれば本年は十二分の豐作なるべしとの豫想なりしも七月に入りて霖雨三旬に亘り加ふるに冷氣異常にして寒暖計は八十度內外を示したる爲め日韓民共に前途を氣遣ひ郡部の豪農は米價の騰貴を見越して其貯米を放賣せざるが爲め七月上旬には上米一石に付七十錢の騰貴を見たりしが本月二十五日以來天候恢復し氣溫も亦八十八九度に上り就中去る二十一日の驟雨は稻作其他の作柄に非常の效果を與へたれば今日の天候にして今後三週間を持續せば本道に於ける米豆は豐作なるべしと云ふ尤も稻は多く晚種なれば今後猶二週の後にあらざれば確報する能はず亦大豆は水害の爲め二割の減少は免れざるも目下恰も花より莢に移るの時に於て殘暑酷熱なれば成熟十分なるべし隨て二割の減少は恢復し得べしと尙成昌郡の一部に害蟲發生せりとの報あるも今や晚秋に際し居れば他郡に蔓延するが如きことなかるべし而して本年の降雨によりて被害の甚だしき作物は棉花にして木花田と稱する山腹傾斜面の砂地に植付くるを例とすれば本年の如き十數回に亘る强雨の爲め土砂頽崩し苗木倒落したる爲め不作を來たしたり又果樹中桃は成熟に際し降雨多量の爲め腐敗甚しく豫期收穫の半を減じたり林檎葡萄梨は共に異狀なかるべし要するに今後三周間目下の暑熱を持續し得ば平安北道の農作物は期待し得べしと云ふ

社告

併合記念號發刊

發刊に關する詳細は追て社告す

京城新報社

▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
一日	一二四、〇八七、五八	三三三

▲仁川港出入の船舶▼

▲山東丸 二日大連より入港

▲仁川米豆取引所▲

▲前場(九月一日)休場 ▲後場(同上) 十月一節九圓三十錢五錢三錢一錢四錢三錢▲二節三十四錢▲三節三十四錢一錢二錢▲出來高一萬千三百石▲十一月一節八圓七十錢六十五錢六錢四錢五錢三錢二錢三錢一錢四錢三錢四錢▲二節八圓六十六錢五錢六錢五錢六錢▲三節八圓六十六錢五錢四錢五錢六錢五錢▲出來高六千百五十石

▲大阪期米電報▼

▲前場(九月一日)十月限寄附十四圓六十錢止十三圓八十錢▲十一月限寄附十四圓十九錢止十三圓八十五錢▲十二月限寄附十四圓二十九錢止十三圓八十四錢

▲治外法權▼

寺內總督曰く併合條約は自分の方から言出したものではなく、全く朝鮮側から持出して來たものだと、言や簡單なれども意味深長▲一体最近の日韓關係に於ては何をシヨーと日本の勝手であつた、夫れをドコまでも隱忍して朝鮮側から出て來るのを待つて居たのは總督の偉らい處だ之から先きの統治に於ても亦た他年他日史論を齎くに付ても朝鮮側から出て來たとの一事は大に都合の良いことだ▲何と云つても李完用は偉らい、彼れの今度の働きは維新の際に於ける勝安房守以上だ、ドッチにしてもサキの知れてる半島を帝國に捧げて其代りに李王の安泰と其他の特權とを獲得したる手際は賞讃するに餘りありだ▲思ふに李完用は併合事件の表面に立てる第一功勞者として新貴族令に因り侯爵になるであろう、併し茲に李完用に匹敵すべき在野の一功勞者がある、ソレは外でもない野田の宋秉畯だ▲宋秉畯の人格、門地、ソレは茲には別問題だ、明治三十九年當時朴參政の議政府に學部大臣たりし李完用と一進會の宋秉畯とが如何なる意味を以て提携するに到りたるかは故伊藤公も他の人々も知らぬところだ、兎にも角にも宋と李とは重大の意味を以て提携した▲李完用と宋秉畯の連合內閣が出來續いて第二協約が出來た、爾來宋は仔細あつて野に下つたが、宋の野にある李の朝にある異體同功であつた▲此上書けば李宋兩人に迷惑を掛けねばならぬ、仍つて書くことは之で止すが記者の知るところを以てすれば李にして侯爵になれば宋秉畯をも侯爵にせねばならぬ、功勞同等の者を同等に待遇するのは聖代の美事だ、賞勳當局者は宜敷詮議に意を用ゆべしだ▲帝國の領土が八萬方哩擴がつた、人口が一千五百万增したさ、烏帽子を被り、竹馬に乘つて加藤清正になり濟ました小供の樣に喜んで居る連中が幾らもある、コンナ連中には未來の大日本帝國がドレ程の領土と人口とを要するかが判らぬ。

吾等は善事を成した

▽成したる事業の價値

昔から棕櫚箒も鬼と見へると云ひ、枯尾花も幽靈と見ゆるとも云ふ俚諺がある、是れは心此所に非ざるが故である自身の心が自身を信ずることが薄い即ち誠實の氣が自身の心より脫して居るから何物を見るにしても物其物の實体を有の儘に見得ぬから生ずる幻覺に他ならぬ――幽靈なるもの〻有無は別問題である――誠心誠意と云ふことは何事にも必要なのだ極端な例だが乞食でも屑拾にも**誠心誠意**の奴は成効する、此の種の誠心誠意は歡迎せねが兎に角雜念を挾んだら何事をも**大成**することは出來ぬ、甚だ如何はしい例を申上げて恐れ入るが或種の國禁を犯せる場合――例せば密漁密獵等に從事する人にして自己の爲せる事業に注ぐべき力を不安の方面にのみ勞するに於ては其收獲は少く其の眼は常に波濤の高きと船舶の來往するものは悉く自己を逐ふもの〻如きを見るのである黃金を懐にして夜行くものは夜警の徒の徘徊するを望み見ても明かに开を夫れと意識する迄はブル〳〵然たるを免れない、此れ自己の懐ける黃金のみに念を煩はして心の平衡を失し**雜念**の爲めに心意を**蹂躙**されて居るから生ずる**妄念**である、彼の密漁獵者の他が船型帆影に恐るゝものは自己の非法をのみ知つて其の目的に重きを置かざるが爲めである、黃金を擁いて夜行くことを危險とするものは夜行かざるに勝かずだ、密漁獵の非法なるのみを知つて他の重き意味を發見し得ざるものは初めより之れを企てざるに如かずだ、夫れ既に然り、况んや之れに反して最も**適法**に**決行**せられたる者は特に然りである、必ず大なる自信と大なる意味とを認め得たものでなければならぬ、此の**自信**と其の**意味**とを認め得たものは其の最初の決心を最も**勇猛**に最も熱烈に**遂行**すべきである、韓國の日本に**併合**せられたるは韓國も日本も熟慮の上併合することを**兩國民**の**利益**なりとし**斷行**せられたものであることは日本人にも朝鮮人にも此の意味が最も深酷に解せられて居る筈である、就中此の併合を芽出度がる内地人諸君は善き事をしたと思ふから芽出度がるのであらふ、然り善事をなしたる**本國人**の**胸臆**には些の**不安**のあるべき道理がない、朝鮮人の爲め東洋平和の保障の爲め韓國を併合したる日本は善事をなしたのであるから、然るに此所に**不思議**なことは内地人の内に善事をなしたりと知りつゝも猶且つ朝鮮人の不爲とでもした如痛く**朝鮮人**を**恐**るゝ**傾向**のあることだ、鐘路以北は**危險**だとか城外は**不穩**だとか**自ら流言**して**自ら恐**がつて**居**るものゝあることだ此の民の爲めに此の善事を成したる内地人に對して此**慧敏**なる**一般朝鮮人**が何にしに**惡意**を持つことがあるものか、况んや今日は警備機關も整備して居るのだ、斯くの如きは自ら輕んずるの甚だしきものと云ふべきである自ら警むるは可なるも濫りに恐れ徒らに怖るゝは其の爲したる事業の價値を信せざるより來るものと云ふべきである(ひの字)

朝鮮人の併合歡迎

▽結髮を切つて萬歲

大阪市北區上福島二丁目七百八十番地の裏長屋に餘程以前より居住せる十數名の朝鮮人あり勞働を目的に渡來し一時は鐵道工夫などになり居たるが去年の北區大火後家屋新築工事のため左官其の他の手傳を要すること夥しく鐵道の工事よりも樂にて儲けも相當にあれば之手を繋いで大阪に落込み前記の所に家を借り交身代りに炊事をなし三十錢五十錢高きは八十錢位の賃錢にて方々へ雇はれ行き歸つて來れば勞れた身體を無雜作に投げ蒸暑い夜などは家の中は堪らぬと門先に蓆を敷き汚れたる蒲團を敷り其の儘グー〳〵寢入るといふ至極暢氣な生活をなし居たるがチヨンボリ摘んで結べる朝鮮髷の櫛を入れねば縺れに縺れていかにもヂヽむさゝうなのを近所の人が見兼ねて早く其んなものは刈つて日本人のやうに蕭張りとした散髪になつては何うだと勸めたるも一再ならねど金を儲けて歸るには此髷がなくてはならぬと何といふても肯かざりき然るに二十九日午前韓國併合の號外が配達せられし時同じ近所の人が之を持ち行き居合はせたる八九名の者に併合の次第を叮寧に言ひ聞せたる上少しは日本語も分り居ることゝて容易に之を會得し『いよ〳〵开うと決つた上は結髮の必要更になし今日こう思ひ切つて斷髮をしませう』と一同申し合はせたる上チヨキ〳〵と奇麗に手鋏にて切り落し『萬歲萬歲』と手を擧げて雀躍したりと時に取つての語草なり

頗る變な貞女

▽亭主を監獄に追拂ふ

香川縣生れ當時京城本町八丁目十九番戶山上方同居大喜多康重は去頃龍山郵便局の集配人を勤め居る中何か曲事を働きて一二箇月監獄に繫がれ此程出獄して前記の所に住ひ居るものなるが此の大喜多に林てるといふ內緣の妻あり看護婦上りの隨分細からぬ量見の女にて夫が未だ郵便局に勤務せる頃より監視人の山下とやら山本とやら怪しからぬ關係を結びとやらばんと欲せしとやら爾來夫に厭氣がさして遂に其の曲事を發き臭い飯を食はせたる變に親切な且珍なる貞女なりされば大喜多の出獄するや厭で叶はぬ上に喋ぐられるやうな氣持して居堪らぬより京城の槍崎東洋といふ歯科醫の許に何とか名をつけて奉公せり山下との關係今は怎うなりしや知らねど大喜多は口惜しくもあり旁々てるの姉なる龍山櫻田町二五林とよと云ふが之れも看護婦上りの女の家に押懸け行き預け置きたる道具を受取りに來しといふを題目にして少々恐ろしき顔もして見せしを働き女でも女は女爾來妹が不始末も萬更知らぬでも無かりしと見ね周章て〻憲兵隊へ駈込み『今度大赦にて放免されし男の我家に來りて亂暴を働くに依り取鎭めて給はれ』と訴出でし其の爲めに前に書きし丈けの事實が露見に及びたり

併合と關釜連絡

▽關釜連絡船は滿員の体

過般來より日韓併合の說世間一般に響き渡ると同時に一攫千金を企つるの輩は好機逸す可からずと下關へ落ち合ひ關釜連絡船にて渡航する者非常に多く爲めに連絡船は出港毎に滿員にて氣の毒乍ら乘船し得ざる旅客ある程の盛況にて中にも二十八日午後十時發夜航便の如きは非常なる乘客にて下關驛內釜山待合所よりプラットホームは殆んど立錐の餘地だになく我れ勝ちに改札口に押出すので改札掛や他の驛員は改鋏に急がしく西弁東走旅客に滿足を與へんとすれど何しろ限りある連絡船内の事とて遂に廣島縣沼隈郡稱字江の浦町沖本新吉外四十九名の遠洋漁業者は壹岐丸に乘船の筈の處乘り込まれざるより二十九日午前九時出港の薩摩丸にて漸く渡つた程の好況なりと

▲掛物の起原▼

▲今では何れの家でも、床の間のある處には必ず掛物がかけてある、而して其相當なりの掛物が平常の家具の一に數へられて居る、處が此の掛物と云ふものは、何物の頃から行はれたのであらう▲我邦では藤原時代にはまだ無かつたやうだ、支那でも李唐以前には其噂も無かつたやうだ、左すれば餘り古い物ではないが、何れにしても雛形があつて、掛物が創始されたに違ひないと信じられる、で、段〻研究して見ると其源は印度にあるやうだ▲李唐以前でも支那では書畫を愛翫したけれども當時は壁上屏障または帳などに描き、現時の如く掛物とする便は無かつた、最も卷物にして玩弄した事はある夫等は皆小品書畫である▲然らば何うして印度を以て始めとするかと云へば、秘密眞言教中に畫像を掛けて供養した事がある、是れ後來に至つて書畫を掛物にして玩賞する起原と成つたのであらうと思へるのだ▲此時代に於ける畫像の掛物は、今の如く糊を以て粘じたもので無く、錦欄にて緣を附し莊嚴にはするも、皆帳の如く針線にて縫つたもので、彼の蔓茶羅の類であらう、帝國博物館にもある西藏蔓茶羅に畫像を縫附けたものがあるにても知れる▲隋唐の頃になると、本邦人にて支那へ渡つた者もある、又朝鮮との交通も不充分ながら開けた是等の處から渡來し掛物を寺院の佛壇等に掛るに至つた、即ち法然書傳春日驗記にも佛畫の掛物は描かれてある▲この時代からして我邦に掛物なるものが出來た、而して夫れが種〻に變遷して今日の如く一般に床の間に掛けて愛玩するやうに成つたものと思へる。

玉水樓主の押送

△被害者は全部同縣人

去月二十二日より三日に亘り玉水樓主の奸策と題し熊本縣人當時中之新地料理店玉水樓主渡邊鐵藏(三九)が同郷里なる熊本縣玉名郡高瀬町寺藤甚作三女はぎ(三〇)其他の酌婦を虐待し或は詐き不當の金錢を騙取したる事は既報の如くなるが渡邊は、七月二十五日南部署に拘引せられ取調中の所被害者は全部同縣人にして奸策を廻らし最初心切らしく誘惑して引き入れ殘酷なる行爲をなしたる證據充分なるより昨一日身柄と共に一件書類を檢事局に送られしが之れ天罰と云ふ可し因に司法處分は勿論行政處分として營業停止は免れざる可しと

●酌婦の駈込み願

昨一日午前三時頃洗足の儘西部署に駈け込み私は酌婦ですが樓主の虐待を受け職業に堪へ兼ねる旨申立たる婦人あり此の女は南大門外御成町末岡益吉方の抱へ酌婦村上きくゑ(一九)なるが最初口入屋に依賴し下女奉公をと望み居りしに太平町料理屋九州樓に住み込せ子守の名義に入れ乍ら淫賣を強いられ其內遂に承諾する事となり營業鑑札を受け居たる中樓主と口入屋と共謀して末岡方に鞍替へさせ多額の負債を生せしめたるさへあるに末岡方にては虐待され業に堪へ兼ねるに付計算すれば借金は二十圓餘になり居る事なれば下女奉公して月賦金にて支拂ふに付相當の取計をと嘆願せしに付南部署に移送せりと

●往來に烟草の雨

卅一日午後五時仁川龍洞烟草商安允善方へ內洞居住の張仕植なるもの泥醉して入り來り同家店頭に陳列しある烟草を鐵路に投出し亂暴をなし居る旨訴により警官出張取鎭め加害者へ嚴重說諭を加へ損害八十錢を辨償せしめて事濟み

●人命救助者授賞

漢城府延禧坊合井里居李順完及宋三石の兩名は去る二十二日午後四時漢江汝矣島に於て金允完外二名が難船して將に溺死せんとせるを發見し金及他の一名を救助したる廉を以て三十一日其筋より金三圓を賞與さる

●井戸に落て溺死

西部餘慶坊紫川洞九統二戶朴用運二男奥万(八)は一昨三十一日午後二時頃附近の子供さ共に遊戲中、亭止洞五十八統五戶韓召史方門前の井戸を覗き誤つて陷落溺死

●認印の主は誰れ

杻峴驛構內待合所澁澤倉次郎は一昨日自宅前にて龜甲型サック入水晶の認印を拾得屆出

●仁川敷島の遊客

敷島遊客三十三人費消高百五圓二十錢なり

目と耳

▲**壽座** 台同劇二日の代り狂言如左『万年青逢ひ』三場『白石噺』三場『語らぬ戀』三場『命の替玉』四場

●**仲券藝妓の腕較** 八月中の同券藝妓の席順を見ると明かに官紀振肅の結果が如何に良好なるかを知ることか出來る即ち此れ迄官吏方面に勢力を有して其の援護を受けて常に多くの上位を占有しつゝあつた花月掬翠下つては賤業等が蹴落され商人側の贔屓を蒙れる清華井門の連中が上位を占めて居るのである十五番迄の所左の如し

今奴(清)蝶々(井門)れ多福(清)雛子 鶴香(井門)玉千代(清)やん茶、文之助(掬)政菊、大助(清)靜子(掬)一駒(清)蝶次(花月)丸子(清)笑太郎(掬)

▲平民文壇▼

▲今村警視が南部署長に就任以來惡手段を弄する手合が大變減つた料理店や飲食店なども著しく眞面目になつたのは甚だ目出度い(喜悅生)▲貴紙三面に連載せられた玉水樓主の奸策なる記事の出所を被害酌婦の一人なりと獨りで定めて其の酌婦を懲役に行るぞと恐喝した紳士がある相だ(能知生)▲御安心なさい其の事は翌朝已に某署刑事の探知する所となつて居る(小僧)▲明法學士とか何んとか自稱する羽織ゴロなるもの〻檢擧せらるることは誠に喜ばしい西小門通りの小料理屋に陣取つてるのも其の手合だ(被害者の一人)▲料理店主の惡辣手段を素葉拔かれたので同一の手段を弄したる他の料理店主は前非を後悔して正當に酌婦なぞを待遇する樣になりました(一仲居)▲警察が恐いからだけでは駄目だ(小僧)▲成新聞の投書に韓語貸家は邦語貸家と同意味の投書を知らざりし人を氣の毒だとか淺識だとか云つた人があつたが是等は深く笑ふ程の事でもあるまい如何なる人も時には詰らぬ事を云つて物笑の種を殘すこともある、レトヴイザンとは旅順口の何の邊にある山かと尋ねた新聞記者、安祿山とは支那中央に聳ゆる風光絕佳の山だと答へた師範學生、爲替をタメカへとは何だと怒鳴つた若旦那不如歸の小說を歸るに如ずと讀んだ海軍武官殿もあつたそうだ(はの字)▲永樂亭の離緣話しも親父が來て一怒鳴で片が付いて老父さんの曰く妾として置く分には差支へなきも女房を離緣する事は罷りならん(へイ〳〵)▲夫れは至極結講(小僧)▲南大門山にある彼建築物、始めは第一銀行で次が韓國銀行今度又何とか名を變へずばなるまいイナさ云ふ魚はよく名の變はる奴だがこれは又生れぬ先から斯う度々名が變ると(春部)▲京城へ來る蛤は何處で取れるのかしら粗末な少さいのではあるが時々眞珠を持つてる奴があるが(不審生)▲此の頃電話を濫用なさる方がるので非常に辛うムいます其の代りとでも云ふのか以前程れ怒りになる方がない此の點は進んだ樣に思はれます(交式部)▲大に同情します怒る人の少くなつたのは君方の伎倆が進歩したのですよ(保)

今日の運勢

九月一日 舊七月廿八日 九紫佛滅庚午翼二百十日△一白 新事見合せの事旅行金談貸借見込なし色情の破れを戒しむ△二黑 委囑會見請願談議に吉擬病衛生に注意すべし△三碧 資買貸借取引に間違生じ易し其他順調の日大抵吉△四綠 慨して康安の日大凡吉兒女家畜の事注意すべし△五黃 會心の日大凡進んで吉誘惑防ぐべし△六白 新事見合せの事建築土木組合婚談の事に吉△七赤 新事旅行婚談組合の事に忌む改革整理に吉遺失橫領防ぐべし△八白 快欣の日相談委囑婚談連帶團結の事に吉建築動土に忌む△九紫 證劵印章及取引の故障起し易し新事及金屬の事に忌む

天氣豫報

(自一日午後六時 至二日午後六時)

東風 曇

卅一日(華氏) 最高溫度 七七、七 最低溫度 七〇、〇

懐中良薬

仁丹 主効
▲悪酔宿酔 ▲舟車暈 ▲頭痛目眩 ▲氣の欝 ▲胸腹痛 ▲口熱口臭 ▲歯の痛 ▲香鄙悪し ▲酒實味増 ▲悪疫豫防

消化と毒けし



快々として樂まぬ人
仁丹飲めば
心底より
愉快になる

▼逆上と
▼便秘と
▼體毒には

梅毒新薬



に限る

代理店 京城 新井薬房

醫學士 木村先生方劑

健胃整腸散

定價 十錢 廿錢

○腹、下痢痢、腸加答兒、赤痢(下り腹一切)の最良薬

發賣本舗 京城明治町三丁目(電話四二七) 小川薬店

▲本品は市内各薬店にあり最寄にて御買求を乞ふ▼

大勉強!!!

▲西洋貨、洋酒、食料品
▲各國煙草、洋菓子、化粧品
▲支那緞子、紋繻子、絹紬類
▲浦潮更紗、毛布類、食器
一上等 食パン 製造販賣

支那織物は特に大安賣仕候
薄利多賣の目的を大々的安賣仕候間御小賣とも多少に不拘御用命の程伏而願上候

直輸入御小賣 ㊊ 義生盛號

仁川港支那町(電話八一八番)
京城南大門通(電話一一三六番) 義生盛號
木浦各國居留地(電話一六九番) 義生盛號
釜山南草梁支那町(電話五六〇番) 義生盛號
長崎市梅香崎 裕和盛號
本店 奉天城内、上海二擺渡 裕和盛
清國支店 營口永世街、鐵嶺西門外、芝罘
芝罘は日本一等旅館衆業

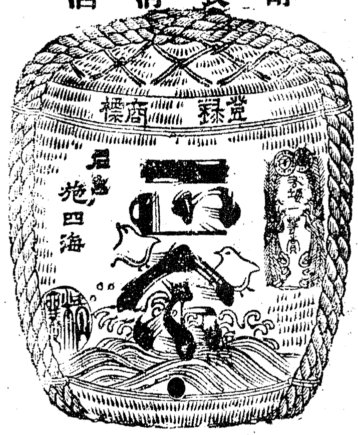
各種石鹸 化粧品 卸商

仁川新町二丁目

月本商店

電話五四〇番

醇良清酒



醸造元 田口酒造合資會社
韓國發賣元 千鳥正宗仁川支店
(電話三五九)

新荷着

酒精アルコール

仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)

坂倉支店

●開店御披露●

時下殘暑の砌り各位益々御健勝の段奉大賀候陳者私事永らく當地旭屋旅館にて御贔負に預り居り候處今般御客様方の御勸めにより左記の所に於て料理店開業致し候に就ては時節柄衛生を旨とし新鮮なる原料を用ひ御手軽に料理仕り大勉強致候間何卒舊に倍し御引立の上一度御來車御試めしあらん事を偏に願上候

仁川本町四丁目安保小間物店小路角
元旭屋旅館料理人

八百勝事

喜樂

電話架設中

資本金五百萬圓

神戸海上運送火災保險株式會社

出張所 京城明治町一丁目(電話一五四九)

貨物運送取扱
關税貨物取扱

危險擔保附運送品
代金付貨物運送
貨物引換證發行

內國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番 一七〇九番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一二番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前電話五三七番
龍山出張所 龍山驛構內 電話二〇六番

韓官衙御用

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐アシン
穀物食鹽
諸鑛料類

特約販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
大阪... 合資會社...特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京新橋三六九二 京地電十番

特約販賣自製

味噌醬油製造元
漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、㊣精酢、穀物麺類、銘茶、鑵詰、乾物食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽、荒物各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進

統監府及諸官衙御用

荷物運搬
引越荷物受負

伊藤組

本町三 電話四〇番
南大門 電話七三二番
大和町 電話九四八番
團第二 電話一六〇八番

英國製

ライト號

●車體堅牢にして優美紳士用實用に適す

附屬品付
正價七十圓

歐米各國自轉車直輸入商
京城本町二丁目
織居商店自轉車部
電話四百八十番

輸入新荷着

京城梅毒病院

京城相生町南門湯横(電話一二九四番)
自午前八時 至午後九時
●花柳病專門附痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

入院隨意

仁川病院

院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學 菊池徹
撰科專攷 常盤光雄
藥劑士

電話十六番

比無勉強

かや わた

關戸蚊帳 株式會社韓國代理店
吳服 太物 洋反 蒲團 調進
新案特許製綿韓國一手特約店

京城明治町一丁目

唐川商店

電話二六一番

明治廿六年七月創立

東京海上運送火災保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口呉服店(電話九番)
資本金一千萬圓
●事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

資本金五十萬圓
積立金九萬七千圓

株式會社 大韓天一銀行

南大門出張所 電話六八一番
電話五五八番

支配人 遠山凞 電話八一六番

一鴨綠江松材現木

長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に御知仕候間御望の方は御來談被下度願上候

建築業 柴田芝六

京城旭町三丁目(電話五六八番)

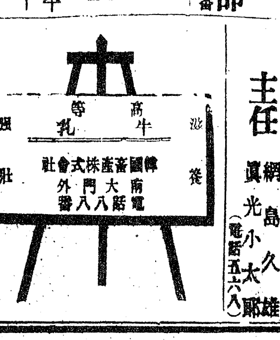
表具部開業

襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應ず

旭町三丁目三日月湯隣

柴田表具部

主任 眞網島久雄 光小太郎
(電話五六八)



入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番)

中島醫院

院主 醫學得業士 中島貞信

純良消毒牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話千六十九番

瀛船出港廣告

月串、甕津、海州行
天草丸 安來丸 成歡丸
隔日出港

仁川港海岸通(電話四一九)

柴田回漕店

尼崎汽船 出港廣告

●群山木浦釜山下關神戸大阪行
神代丸 日午後四時發
君が代丸 日午後四時
秀吉丸 月 日午後四時
大有丸 月 日午後四時
●木浦釜山下之關神戸大阪行
大有丸 月 日午後四時

仁川港取扱店 高杉回漕部(電話五九)

芙江公州 間出帆廣告

芙江發 毎日後一時(京城方面ヨリ急行接續)
公州發 毎日前七時(京城方面行急行接續)
(荷客共御取扱可申候)
御用向ハ御方へ(京城仁川鳥致院芙江公州)中協店(へ御申越被下度候)